

♪ 2022年度 **poco a poco** ♪

Nr. 13 2022年10月6日(木)

文責:プファイル・辰巳

### ちいさい秋、みつけた？

- ①まっかだな、まっかだな、ツタの葉っぱが～
- ②だれかさんが だれかさんが だれかさんが～
- ③秋の夕日に 照る山 もみじ～
- ④夕焼け 小焼けの 赤とんぼ～
- ⑤夕焼け 小焼けて 日が暮れて～



日本の歌には「秋」を歌った曲がたくさんありますね。代表的な曲の歌いだしを5曲、書き出してみました。メロディはすぐ頭に浮かんできましたか？ では、題名はどうでしょうか。答えは、①「まっかな秋」②「小さい秋 みつけた」③「もみじ」④「赤とんぼ」⑤「夕焼け小焼け」です。その他にも「里の秋」「秋の子」「落葉松」「村祭」「虫の声」など、秋の歌はたくさんあります。日本の秋、そして紅葉する山々は本当に美しいですね。(10曲全部歌えたら、100点満点です！)

ドイツの紅葉は、赤が少なく、黄色が多いような気がします。それでもぶどう畑が一面黄金色に変わる景色は、見逃せないですね。寒く暗く長い冬の前奏曲のように短いドイツの秋の様子に、ぜひ目をとめて見てください。

### 音楽こぼれ話 < Oktober…… 10月なのに OCTO >

「octo」はラテン語で「8」の意味があります。たとえば、タコの足は8本なので「オクトパス」。八角形の建物は「オクタゴン」。(蛇足ながらアメリカ国防総省の建物は五角形なのでペンタゴン。日本の音階は通常ドレミソラの5音音階なのでペンタニックといえます。ペンはギリシア語で5の意味があるそうです。)

西洋の音階は「ドレミファソラシド」と数えると、ドから数えて次の高いドは8番目の音になります。これを8度音程といい、オクターブと呼んでいます。ここでも「8」という

数字に由来しています。

デュエット(二重奏)、トリオ(三重奏)、クワルテット(四重奏)と数えていくと、八重奏はオクテットになります。音楽の分野でもオクトが含まれる語には8の意味があるのです。

ところで、10月のオクトーバーは、8月ではないのに何故オクトが含まれているのでしょうか。これは、紀元前のローマで使われていた暦で第8番目に当たる月が、ユリウス・カエサル暦を経て、現在のグレゴリオ暦に移行したときに、名前だけが10月にスライドしてしまった、という歴史があるからだそうです。2000年前に「第8番目の月」と呼ばれていた月が、今の暦では第10番目になっているのに、名前だけが引き継がれているので、多くの人が疑問に思うようです。私もその一人でした。

### ちょっとだけ 演奏会情報

#### ヴィースバーデン歌劇場の演目より

##### ヴェルディのオペラ「リゴレット」

10月 8日(土) 19:30 ~

10月23日(日) 16:00 ~

(11月にも公演されます)

##### ベートーヴェンのオペラ「フィデリオ」

10月16日(日) 18:00~ 10月20日(木) 19:30~

22日(土) 19:30~ 27日(木) 19:30~

30日(日) 18:00~ (11月にも公演されます)

##### レハールのオペレッタ「Die lustige Witwe (メリーウイドー)」

12月 3日(土) 8日(木) 10日(土) 16日(金)

18日(日) 21日(水) 25日(日) いずれも19:30~

##### フンパーディンクのオペラ「ヘンゼルとグレーテル」

12月 4日(日) 11日(日) 17日(土) 23日(金)

26日(月) 31日(土) いずれも 19:30~

